

令和6年度介護ロボット等導入支援事業導入効果報告書（1年目報告）

担当者	濱西 康平	連絡先	0123-88-3030
-----	-------	-----	--------------

1 基本情報

(1) 法人名	(2) 事業所番号	(3) 事業所名	(4) 事業所所在市町村
社会福祉法人 迎光会	0175800085	特別養護老人ホーム迎光園	長沼町
(5) 事業所所在住所	(6) サービス種別		
夕張郡長沼町南町2丁目3番20号	介護老人福祉施設		
(7) サービス種別が補助金交付時と変わっているか	(8) 変わっている場合、現在のサービス種別	(9) 従業員数	
変わっていない		97人	

2 テクノロジー導入成果①

(1) 1人当たり・1月当たりの総業務時間（時間／月） ※ 令和6年10月における介護職員等の1人当たり・1月当たりの総業務時間 (調査対象者全体の平均値（少數点第1位まで）。) ※ 「介護職員等」は、導入したテクノロジーによる効果が期待される職種が対象となる。 (訪問介護における介護職員、訪問看護における看護職員、居宅介護におけるケアマネ等)	141.9時間
0.6時間	
(3) 1人当たりの年間の平均年給取得日数 ※ 令和6年10月を起算として直近1年間ににおける年次有給休暇の取得日数（調査対象者全体の平均値（少數点第1位まで）。）	
11.5日	
(4) 年間の離職者数（人／年） ※ 令和6年1月1日から令和6年12月31日の1年間に離職者数の合計。 ※ 管理者、介護職員、医療職、事務職、いわゆる介護助手を含む全職員。	
12人	
(5) 令和6年1月1日時点の職員数（人）	
97人	

対象職員全員の業務時間合計	対象職員数	入力用計算式
8514	60	= 8514 ÷ 60
対象職員全員の超過勤務時間合計	対象職員数	入力用計算式
38	60	= 38 ÷ 60
対象職員全員の年次有給休暇取得合計	対象職員数	入力用計算式
692	60	= 692 ÷ 60

3 介護テクノロジーの導入効果②

(1) 導入区分（複数の組み合わせで導入した場合は、複数選択。（介護ロボット・ICTなど）						
介護ロボット						
(2) 導入前における課題 ※いずれかに「○」を入力。複数選択可						
<input type="radio"/>	職員の身体的負担		職員の心理的負担	<input type="radio"/>	介護時間	
	文書の量		職員間の情報共有不足		1利用者あたりに対する人員	
<input type="radio"/>	その他	その他の具体的な内容		利用者様の心身の負担		
(3) 導入した機器の重点分野（介護ロボットを導入した場合のみ回答）				(4) 導入した機器の製品名		
移動支援（屋内）				電動昇降フルリクライニングキャリー FC-320		
(5) 導入した機器の活用状況（具体的に記載）						
ベッド⇒電動昇降フルリクライニングキャリーの移乗時に電動機能を活用し、職員、利用者共に心身に負担の少ない介護を実現している。						
(6) 課題に対する導入効果及び評価指標の達成状況						
項目	評価指標	導入前		導入後		
人員体制の効率化						
職員の負担軽減	移乗時の負荷軽減	100%		80%		
介護時間の短縮	移乗準備の時間短縮	5分		3分		
記録時間の短縮						
利用者の満足度						
介護職員の満足度						
その他						
具体的な内容	機器の導入により、導入前よりも職員、利用者の心身の負担を軽減することができている。					
(7) 介護テクノロジーの導入により、収支改善が図られたか						
はい ・ いいえ ※どちらかに「○」を記載	「はい」を選択した場合、職員への賃金への還元の状況と、その周知方法。	<還元方法> ※いずれかに「○」を記載		<周知方法> ※いずれかに「○」を記載。		
		給与		回覧		
		一時金		掲示		
		各種手当		その他（ ）		
		その他（ ）	※その他の場合（ ）内に内容を記載			
(8) その他自由記載欄（導入にあたっての課題、導入後の職場環境の変化、本事業に対する意見等）						